

Girls

チームをけん引した宋恵佳



安定したカットで活躍した
庄司有貴



思い切った攻撃で優勝に
大きく貢献した山本怜



国民体育大会とは

- 広く国民の間にスポーツを広めること
- スポーツ精神を高揚し、国民の健康増進と体力向上を図ること
- 地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与すること
- 国民生活を明るく豊かにすること

を目的として毎年各都道府県持ち回りで行われる国内最大の体育スポーツの祭典(ぎふ清流国体ホームページより)

ぎふ清流国体 東日本大震災復興支援 第67回国民体育大会

期間:9月30日~10月4日
会場:ヒマラヤアリーナ(岐阜アリーナ)
主催:公益財団法人日本体育協会
文部科学省・岐阜県
公益財団法人日本卓球協会
岐阜市

青森県

左から板垣監督、庄司選手、宋選手、山本選手

少年女子
優勝

変化の多いカットと攻撃を
織り交ぜた決勝も2点取り
した谷岡あゆか



強い精神面で最後まで
攻めた明神佑実



開東、九州から各6枠、近畿、東北から各4枠、北信越、中国から各3枠、東海、四国から各2枠、北海道1枠、地元岐阜1枠の合計32都道府県が出場した。青森はエース格の宋、山本、庄司がそれぞれの役割をきっちり果たし、7年ぶりの優勝を決めた。準優勝は2年連続で高知。谷岡が決勝で2点あげた活躍。ベスト4には、福岡、岐阜が入った。

高知県

少年女子
準優勝 左から浜田監督、谷岡選手、明神選手、王選手



安定感抜群の
プレーを披露
した加藤知秋

ミスの少ないプレー
だった加藤杏華



福岡県

少年女子
3位 左から石田監督、温選手、前田選手、徳永選手

積極的な攻撃を
みせた前田美優



岐阜県

回転量の多い
両ハンドプレーを
みせた荒木悠里

少年女子
3位 左から横谷監督、荒木選手、加藤(知)選手、加藤(杏)選手

大きな声で選手を
後押しした岐阜ベンチ



Boys

丹羽孝希
質の高いプレーを
みせて優勝に貢献



森蘭政崇
闘志むき出しの
プレースタイル
で活躍



少年男子
優勝

2年連続19回目の優勝 左から森蘭選手、丹羽選手、町選手、吉田監督

豪快なバックハンドを
みせた有延大夢



山口県

左から橋津監督、有延選手、平野選手、吉村選手

少年男子
準優勝

センス溢れるプレーを
みせた吉村和弘



愛知県

少年男子
3位 左から今枝監督、藤村選手、大坂選手、松田選手

威力十分の両ハンド攻撃を
みせた藤村友也



鋭い振りで積極的に
せめた大坂亮輔

岐阜県

少年男子
3位 左から近藤監督、郭選手、坂野選手、酒井選手



軽快な両ハンド
ドライブの
酒井明日翔



各ブロックから上位通過の1枠もしくは2枠に、北海道と地元岐阜を足した16枠の参加であった。決勝は青森と山口が対戦。各試合接戦となるが丹羽、町、森蘭がそれぞれ役割を果たし、19回目の優勝を達成した。敗れた山口だが、鋭い両ハンド攻撃は大会随一の切れ味だった。ベスト4は、気合い十分の愛知、厳しい予選を勝ち抜いた岐阜が入った。

美しい清流に恵まれた岐阜県。爽やかな川の流れるように、人々が出会い、絆(きずな)を深める舞台となることを願って「ぎふ清流国体」の愛称がつけられた第67回国民体育大会の卓球競技会が、9月30日~10月4日まで、岐阜県、岐阜アリーナで行われた。初日には台風17号が会場に上陸、地元特産品売店をはじめとする会場前のテナントショップも店じまいというあいにくの天候となったが、競技は無事に予定どおり進行した。今年度、成年男子は予選がなく、47全都道府県が参加。成年女子20、少年男子16、少年女子32都道府県が予選を勝ち抜いて参加した。

Women

回転量の多い両ハンド攻撃を
みせた扶間のぞみ



ピッチの早い
積極的な攻撃を
みせた山梨有理



岐阜県

丁寧なプレーで
チャンスを作り
得点を重ねた石塚美和子



左から河田監督、扶間選手、山梨選手、石塚選手

成年女子
優勝

スマッシュ、
ドライブ攻撃が
よかった阿部恵



東京都

バックでの速攻と
フォアドライブが良く
活躍した天野優



左から西村監督、天野選手、原田選手、阿部選手

成年女子
準優勝

茨城県

成年女子
3位

左から内山監督、森蘭選手、市川選手、野上選手

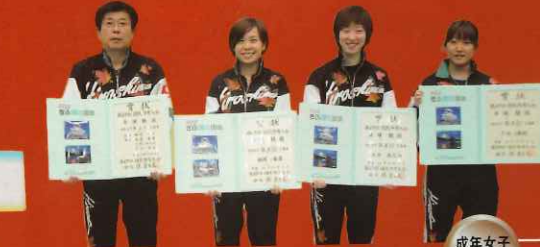
躍動感溢れる
プレーをみせた
森蘭美咲



変化サービスから
の3球目とバック面
ツブ高をうまく得点に
結びつけた福岡春菜



広島県



左から橋本監督、福岡選手、土井選手、土田選手

成年女子
3位

ぎふ清流国体

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会

予選なしで全都道府県が参加し、決勝は東京と青森が顔を合わせた。奇しくも、全員が青森山田高校出身。お互いが手の内を知り尽くしており、ラストまでもつれる展開に。ラストは東京の松平賢二が気迫溢れるプレーをみせ、決勝点、来年東京での国体へ良いステップとなった。ベスト4には京都、そして、大声援を背に奮闘した岐阜が入った。

Men

ラリー戦に強く、ミスが少ない松平健太



力強いフォアハンドドライブの高木和卓



東京都

成年男子
優勝

左から佐藤監督、松平(賢)選手、松平(健)選手、高木和選手

ミスが少なく、威力あるフォア
ハンドドライブの張一博



前陣での打点の早いプレー
の大矢英俊



青森県

左から渡辺監督、張選手、大矢選手、上田選手

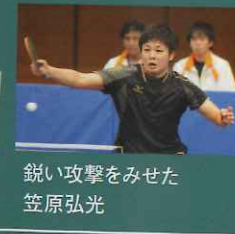
成年男子
準優勝



両ハンド攻撃が
良かった大島祐哉



鋭い攻撃をみせた
笠原弘光



京都府

成年男子
3位

左から足利監督、笠原選手、大島選手、森田選手

ファイト溢れる
プレーをみせた
安藤康寛



エースとして活躍し、
ベスト4入りに
貢献した時吉佑一



岐阜県

何度も劣勢となるが、
その度に挽回劇を演じた谷村直樹

左から米塚監督、時吉選手、安藤選手、谷村選手

成年男子
3位

